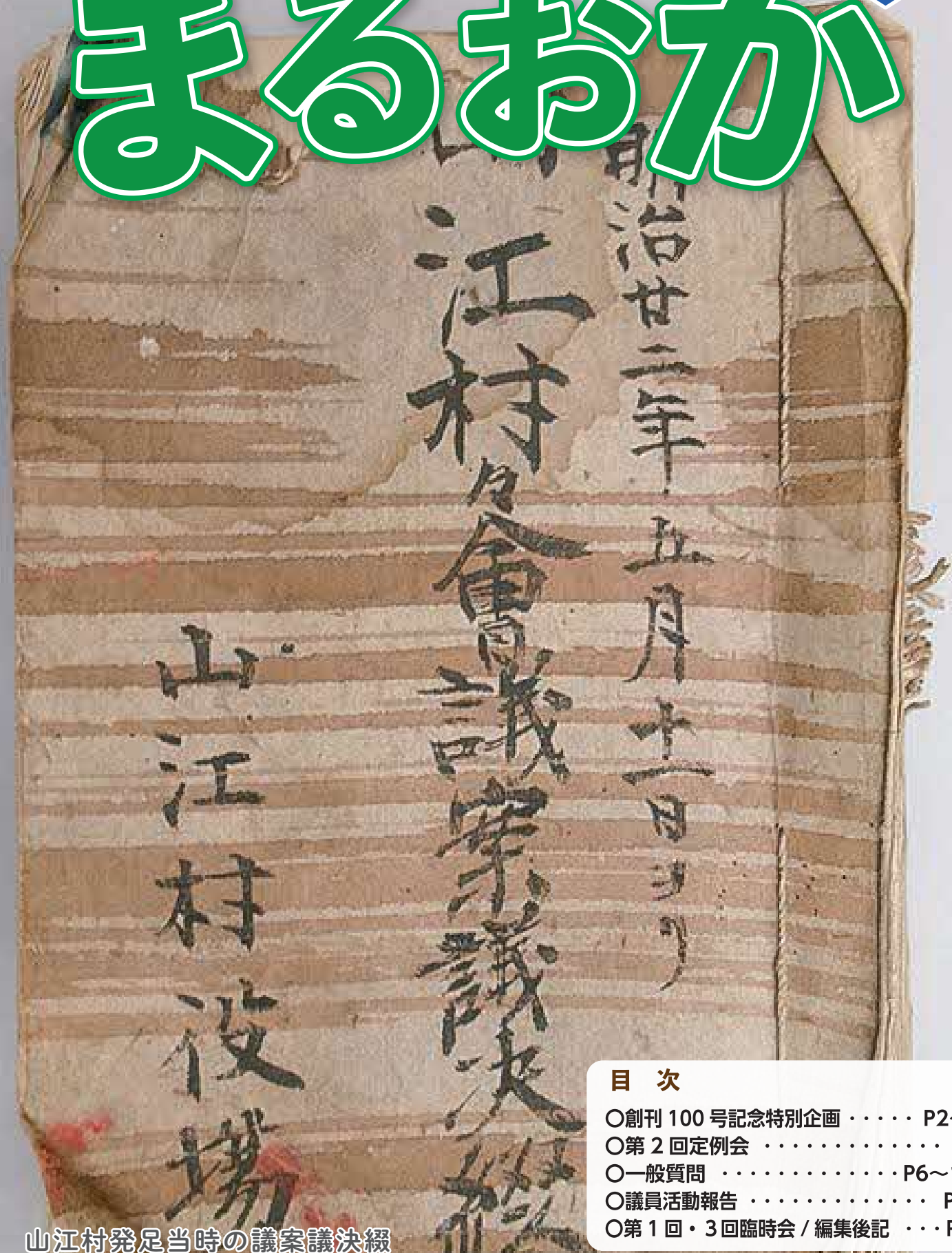


山江村議会だより

No.100

# まるおか



## 目次

- 創刊 100 号記念特別企画 ..... P2~4
- 第 2 回定例会 ..... P5
- 一般質問 ..... P6~10
- 議員活動報告 ..... P11
- 第 1 回・3 回臨時会 / 編集後記 ... P12

山江村発足当時の議案議決綴

令和 8 年 4 月 30 日発行 発行:山江村議会 編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

# ～山江村と議会の歩み～

山江村議会だより「まるおか」はおかげさまで、創刊より100号を迎えることとなりました。100号の発刊を記念し、山江村及び議会のこれまでの歩みをまとめました。

- 明治22年 山江村・万江村を合併し山江村と称す  
当初予算958円76銭4厘
- 明治23年 山江村消防組編制
- 明治26年 各小学校を尋常小学校と改称す
- 明治35年 隔離病舎新設、伝染病院開設
- 大正7年 山江村区を1区～9区と定める
- 大正10年 区域を23区とする
- 昭和14年 警防団設置494名(第1分団～第9分団)
- 昭和15年 区設置規程改正、27区とする
- 昭和16年 小学校令の廃止により国民学校と改称す
- 昭和19年 7月21日、豪雨により大洪水。道路、河川は全般的に決壊、流出  
橋梁は数十ヶ所流出  
尾崎国民学校、洪水のため校地決壊、校舎解体。8月に高触部落に仮校舎設置
- 昭和22年 新憲法施行
  - ♪ 山田、尾崎、屋形、城内、各国民学校を小学校と改称する
  - ♪ 学校教育法に基づき、山江青年学校跡に山江中学校創立
- 昭和30年 山江村区設置条例制定(人口6,766人【国勢調査】)
- 昭和34年 皇太子殿下御成婚記念植樹祭(新層5町3反)
- 昭和36年 電気導入(山田大川内、萩、内畑地区)
- 昭和37年 3ヶ年継続事業として山江中学校建築工事着工。旧寄宿舎を廃止し、新寄宿舎完成
- 昭和38年 電気導入(六沢、沢水、白岳、水無、戸屋、尾寄崎)71戸
  - ♪ 大川内分校、本校へ昇格(大川内小学校として独立)
- 昭和39年 電気導入(日当、横手、下払、湯の原)15戸
- 昭和40年 8月6日、台風15号により災害救助法適用(全壊32世帯141人、半壊67世帯402人  
一部損壊170世帯765人)
  - ♪ 山江村人口5,639人(国勢調査)
- 昭和42年 各学校給食室完成、完全給食開始
- 昭和43年 山江保育園開設、定員60名
- 昭和45年 山江村人口4,765人(国勢調査)
- 昭和46年 7月11日、村営山江養魚場オープン
  - ♪ 自衛隊ヘリコプター墜落事故(万江大川内)
- 昭和48年 全日本カヌー大会(万江淡島の万江川で開催)
- 昭和50年 山江村人口4,426人(国勢調査)
- 昭和51年 山田小学校新校舎開校(山田章鹿倉へ移転)
  - ♪ 山江村立章鹿倉保育園開園



旧庁舎での議会の様子



観光客で賑わう養魚場

- 昭和52年 山江特産「栗」天皇・皇后両陛下に献上
- 昭和53年 山江村立万江保育所を開所
- 昭和54年 山江村役場庁舎移転、執務開始(現役場庁舎)
- 〃 山江村章決まる
- 昭和57年 山田地区簡易水道事業完成
- 昭和58年 山江村営住宅北永シ切団地11棟完成
- 昭和59年 〃 〃 10棟完成
- 昭和60年 山江村人口 4,389人(国勢調査)
- 〃 山江村営住宅北永シ切団地9棟完成
- 昭和62年 村民憲章制定。村木・村花・村鳥決まる
- 平成元年 12月7日、九州縦貫自動車道供用開始
- 平成2年 山江村人口 4,237人(国勢調査)
- 平成3年 4月1日、山江温泉健康センター落成
- 〃 7月16日、屋形多目的集会施設落成
- 〃 7月21日、尾寄崎キャンプ場施設落成
- 平成4年 9月1日、スクールバス運行開始
- 〃 10月16日、ほたる亭落成
- 平成6年 2月25日、山江村議会棟完成
- 〃 6月30日、山江村農村環境改善センター開設
- 〃 大干ばつ(井戸枯れ、樹木の枯死【被害額 45,472千円】)
- 平成7年 山江村人口 4,118人(国勢調査)
- 平成11年 11月11日、山江村歴史民俗資料館オープン
- 平成12年 山江村人口 4,104人(国勢調査)
- 平成13年 議会だより創刊号発行
- 〃 9月30日、やまえくり健康マラソン大会開催
- 平成15年 9月5日、山江村物産館「ゆっくり」落成
- 平成17年 山江村人口 3,901人(国勢調査)  
ボンネットバス「マロン号」産業遺産認定
- 平成18年 乗合バス「まるおか号」運行開始
- 平成19年 3月16日、クラインガルテン「ほたるの荘」完成
- 平成20年 山江村商工会を中心とした  
「九州山江村の宝物ブランド化事業」が開始
- 平成22年 4月1日、山江村ケーブルテレビ「まろんチャンネル」開局
- 〃 山江村人口 3,681人(国勢調査)
- 平成26年 10月1日、小中学校給食無料化開始
- 平成29年 4月3日、デジタル防災行政無線開局
- 平成30年 2018日本ICT教育アワード 山江村が総務大臣賞を受賞
- 令和2年 7月豪雨災害発生
- 令和5年 議会用タブレット端末導入
- 令和7年 やまえ栗の(GI)地理的表示保護制度の登録
- 令和8年 万江川土砂・洪水氾濫対策(屋形地区)砂防堰堤工事着工



栗献上 皇居にて  
(昭和52年9月27日)



建設中の山江温泉健康センター



議会だより創刊号



まるおか号運行開始



山江村ケーブルテレビ開局記念式典



令和2年7月豪雨災害発生

# 山江村議会 歴代議長・副議長

## ●歴代議長

(令和8年3月31日現在)

就任順	氏名	任期	
		就任	退任
初代	岡山貞吉	昭和22年4月	昭和26年4月
第2代	中村市雄	昭和26年4月	昭和27年1月
第3代	西村健一	昭和27年1月	昭和28年8月
第4代	高岡広市	昭和28年8月	昭和29年6月
第5代	赤坂貞治	昭和29年6月	昭和30年4月
第6代	深川喜一	昭和30年5月	昭和34年4月
第7代	箕田常男	昭和34年4月	昭和38年4月
第8代	上村進	昭和38年4月	昭和42年4月
第9代	箕田常男	昭和42年4月	昭和54年4月
第10代	桑原隆行	昭和54年4月	昭和62年4月
第11代	中村昭	昭和62年4月	平成3年4月
第12代	西茂	平成3年5月	平成7年4月
第13代	中山休	平成7年5月	平成11年4月
第14代	上村通生	平成11年5月	平成15年4月
第15代	前村源次	平成15年5月	平成19年4月
第16代	田村四郎	平成19年5月	平成23年4月
第17代	田口清隆	平成23年5月	平成23年12月
第18代	松本佳久	平成23年12月	平成27年4月
第19代	秋丸安弘	平成27年5月	平成31年4月
第20代	中竹耕一郎	令和元年5月	令和5年4月
第21代	森田俊介	令和5年5月	現在

## ●歴代副議長

(令和8年3月31日現在)

就任順	氏名	任期	
		就任	退任
初代	中村実男	昭和22年4月	昭和26年4月
第2代	高岡広市	昭和26年4月	昭和27年3月
第3代	中村安一	昭和27年3月	昭和30年4月
第4代	山口戸一	昭和30年5月	昭和34年4月
第5代	内川二生	昭和34年4月	昭和38年4月
第6代	富岡高雄	昭和38年4月	昭和42年4月
第7代	前田末記	昭和42年4月	昭和46年4月
第8代	宮田要	昭和46年4月	昭和54年4月
第9代	上村倉人	昭和54年4月	昭和62年4月
第10代	松本猛夫	昭和62年4月	平成3年4月
第11代	西昱雄	平成3年5月	平成7年4月
第12代	上村通生	平成7年5月	平成11年4月
第13代	山田孝	平成11年5月	平成15年4月
第14代	富岡隆治	平成15年5月	平成19年4月
第15代	田口清隆	平成19年5月	平成23年4月
第16代	山本義隆	平成23年5月	平成27年4月
第17代	中竹耕一郎	平成27年5月	平成31年4月
第18代	横谷巡	令和元年5月	令和5年4月
第19代	久保山直巳	令和5年5月	現在

# 令和8年第2回山江村議会定例会

令和8年3月9日から13日までの5日間、第2回定例会を開催し、令和7年度補正予算6件、同意1件、条例改正13件、令和8年度当初予算7件の合計27件を可決しました。令和8年度一般会計当初予算は5,418,000千円（前年度比1,082,000千円の増額）となりました。

## 質疑

## 答弁

### 白川議員

1. ふるさと応援寄附金の使い道は。
2. 辻傾斜地崩壊対策事業負担金の事業内容、また、説明会を予定しているか。

### 総務課長

1. 特産品開発及び地域産業の振興に関する事業等、6つの事業へ5,420千円を充当。

### 建設課長

2. 工事中仮設道路の設置、法面吹付工事など。説明会については、地元住民へ都度お知らせをしながら、実施する。

### 西 議員

1. 企画総務費のシティプロモーション委託料の内容。
2. 地域おこし協力隊活動サポート業務委託料の内容。
3. 親水公園基本構想設計業務委託料の内容。
4. 地域づくりアドバイザー業務委託料の内容。
5. 業務推進委託料の内容。
6. 地域おこし協力隊業務委託料の内容。

### 企画調整課長

1. ふるさと納税業務に係るPR活動の委託料。
2. 地域おこし協力隊1名分の生活などサポートに係る委託料。
3. 淡島地区に予定している親水公園の基本構想を計画するための委託料。
4. 栗の駅、また地域づくり全般へのアドバイザー業務に係る委託料。
5. 地域づくりフォーラムや、復興ポータルサイトの管理運営、更に民間放送会社を含めた新しい情報発信への委託料。
6. (株)トムシと委託契約を結び、地域おこし協力隊3名分への委託料。

### 立道議員

1. 介護予防拠点施設費の施設管理委託料の内容、及び運動機器リース料の内容。
2. 健康増進事業管理委託料の内容。
3. 非常備消防費の消防団再編支援補助金の内容。

### 健康福祉課長

1. メディカルフィットネス事業に係る人件費等の民間委託料と、9種類13台の運動機器へのリース料。
2. 健康増進のためのデジタル健康ポイントに係る委託料。

### 総務課長

3. 現在の8分団編成から5分団編成へ統合する際の、再編支援に係る補助金。

### 赤坂議員

1. 狂犬病予防注射に係る歳入歳出の大幅な増額の要因は。
2. 親水公園建設の事業主体は県か村か。
3. ふるさと応援基金積立金の70%を経費として見ていると審議の中で説明がなされたが、国の指針である50%に収まるという説明もなされた。村に入る寄付金は30%ということか。
4. 移住支援金が7年度は1件分、8年度は4件分と増額されているが、実際に申込みがあっているのか。

### 健康福祉課長

1. これまでは、獣医師会と村と分けて受入れをしていたが、来年度からは、いったん村で全額を受入れ獣医師会へ支払うこととなったため。

### 企画調整課長

2. 県道から河川側については県の河川整備事業、山側の公園整備については村の事業。

### 村 長

3. 寄付金に対して50%の経費をみているが、寄付金の増額を見込んでいるため、20%を上乗せしている。

### 企画調整課長

4. 申込みがあっているのは現在のところ1件。

### 横谷議員

1. 官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業について、建築工事も含まれると思うが、委託料一本で計上した理由は。
2. 尾寄崎キャンプ場維持管理費で水源掘削に係る工事費を計上しているが、その内容は。
3. 村営住宅新規建設のための用地購入費の計上がなされているが、地域優良賃貸住宅の建設も計画されているのか。

### 企画調整課長

1. 建築工事やその監理業務、プロモーション動画制作、商品開発、そして太陽光パネルを活用したエネルギー事業など多岐に渡る事業を予定しているが、民間の資金、経営能力、技術、ノウハウを活用したPFI方式による発注を考えているため、委託料一本での予算計上を行った。
2. 尾寄崎キャンプ場の水源は、これまで山水を引いていたが、敷地内に井戸を掘って水を確保するため、その工事に係る費用を計上した。

### 建設課長

3. 現在40戸の住宅整備を予定しているが、そのうち地域優良賃貸住宅は6戸の整備を計画している。



白川 俊博 議員

# ■ 乗合バス “まるおか号”の運行状況 ■ 道路及び河川整備の現状は！



**問** 人吉市内への停留所増設はアンケート調査後人吉市と協議して行く

**答** 近年における「まるおか号」の利用者数は、

**問** 左記のとおり、年々増加傾向にある。

年 度	利用人数
令和3年度	6,589人
令和4年度	7,416人
令和5年度	7,587人
令和6年度	7,638人
令和7年度	6,880人

(令和7年度：1月末現在)

**問** 本村は利用者に対し利用料金への補助を行っているが、近年の補助額の状態は。

**答** 総務課長

下記の通り、年々増加傾向にある。



年 度	補助金額
令和3年度	7,278,902 円
令和4年度	7,897,589 円
令和5年度	8,314,818 円
令和6年度	8,500,385 円
令和7年度	8,243,149 円

(令和7年度：1月末現在)

**問** 高齢となり運転免許の自主返納者が利用されているがその現状は。

**答** 総務課長

年 度	自主返納者利用状況
令和3年度	870 回
令和4年度	1,571 回
令和5年度	1,760 回
令和6年度	1,547 回
令和7年度	1,475 回

(令和7年度：1月末現在)

**問** 令和7年度における山江村内の運転免許の自主返納者の数は確認できるか。

**答** 総務課長 人吉警察署へ問合せたが、山江村の数は分らない。

**問** ない。人吉署管内では200人が自主返納している。

**答** 総務課長 まるおか号の運行については、令和7年度から人吉市内の停留所を2ヶ所増設されているが、市内でのルート間において、更に停留所の増設は出来ないのか。

**問** 停留所の増設については村政懇談会でも要望が出ている。人吉市内での運行は人吉市公共交通会議の許可が必要。今後アンケート調査を行い人吉市と協議しながら利用しやすい停留所を設置して行きたい。

**問** 県道相良人吉線の歩道新設工事は、今年10月頃着手予定

**答** 建設課長 令和7年度に実施した道路河川の整備状況を伺う。

**問** 舗装補修工事が3路線、路面性状調査が10.6km

**問** 橋梁点検が44橋、橋梁補修設計が2橋、橋梁補修工事が2橋、河川改修工事が1河川。

**答** 建設課長 令和8年度予定される道路河川の整備状況を伺う。

**問** 舗装補修工事が7路線、橋梁補修設計が1橋、橋梁補修工事が1橋。

**答** 建設課長 これまで令和2年災害復旧事業を優先してきた。今後は財源確保を図りながら事業実施に向けて検討して行く。

**問** 県道相良人吉線は役場前から歩道新設が計画されているが実施時期は。

**答** 建設課長 用地取得が完了した区間から実施して行く。工事着手時期は今年10月頃を予定している。



北田 愛介 議員

## ■ 農業政策を問う

## ■ 村民所得を問う

## ■ 公共事業と財政計画を問う



農業振興をどう進める！

**問**

本村農業の高齢化の現状と今後の推移予測を伺う。

**答 産業振興課長**

2020年と2015年と比較すると農業経営体個人、団体合わせて21経営体が減少した。65歳以上の農業経営体は55.7%から64%に増加した。今後も高齢化は進むと推測している。

**問**

農業経営体の高齢化、後継者不足の現状において、今後本村の農業振興をどの様に進めるか伺う。

**答 村 長**

行政の役割として諸々の情報提供を農家の方にしていく又、農家の方々と連携し環境の整備や基盤の整備をしっかりとしながら農家の方々が農業に取り組める環境を作っていく。その基盤整備の一つとして栗の駅を位置付

けて、米や栗だけでなく野菜の集出荷を行う。栗の駅を中心として農業振興、産業振興にしっかりと取り組む。

村民所得どう上げる！

**問**

令和4年度熊本県市町村民経済計算報告書によると、山江村の総生産額は120億円で県内45市町村中38位、1人当たりの市町村民所得は239万9千円で35位である。

民間調査の全国市町村所得ランキングでは、平均所得が全国1741市区町村中1686位にランク付けされている。

今後、どのようにして村民所得を上げていくのか伺う。

**答 企画調整課長**

特産物であるやまえ栗やニオイヒバ、ゆず等の6次産業化による付加価値の創造に併せて、雇用の創出を図り栗の駅から地域経済を波及させながら村内の総生産を高めて村民所得の向上を図る。

大型公共事業の実施に伴う財政計画は！

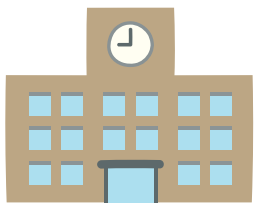
**問**

今後実施予定の大型公共事業計画を伺う。

**答 総務課長**

各課のヒアリングを實施して令和7年度から14年度までの財政計画を作成した。

今後実施予定の公共事業は、栗の駅整備、蓄電施設整備、尾崎崎キャンプ場リニューアル、村営住宅建て替え、簡易水道耐震化、農業集落排水施設更新、メディカルフィットネス事業、学校給食共同調理場、小中学校統合、丸岡公園人工芝整備、親水公園など、約64億8千万円を見込んでおり国県補助金、地方債、基金などを活用して一般財源は、7800万円程度である。



**問**

これまでの大型事業や今後の事業実施による起債償還を含めた財政の見通しを伺う。

**答 総務課長**

令和7年度から10年間の起債償還計画を作成している。令和12年に4億6500万円程度のピークを迎え、その後は年々降下し16年度は4億程度になる。地方交付税措置額を差引いた実質負担は1億5200万円から1億9300万円で推移する見込み。

**答 村 長**

実質公債費比率もピーク時11.3%で20%を大きく下回る。国県支出金や起債が予定通りいかなるときは、事業を延期せざるを得ない事態が出てくる。今後大型の公共事業が続くので、しっかりと対応していく。



久保山直巳 議員



## ■ 村長選挙について

### 村長選挙出馬の意向について

#### 問

内山村長においては、自然と暮らしを大切にす  
る鎮山親水の理念を掲げ  
られ、着実な行政運営と  
地域に寄り添う姿勢は多  
くの成果を生み出してき  
ました。よって、内山村  
長には、山江村の未来の  
ために、経験と実行力を  
発揮していただきたく、  
次期村長選挙に立候補を  
強く要請したいと考えま  
すが、村長選挙に立候補  
されるお考えがあるのか、  
お伺いします。

#### 答 村 長

プロジェクトが、令和8  
年度より具体的に始まる  
という時期を迎えておりま  
す。これまで温めてきたソ  
フトがいよいよ動き出すと  
いうことであります。特に  
財政面におきましては、こ  
れまでいろんな経験を通し  
て、国や県と国会議員の先

生方をはじめ霞が関の国  
土交通省をはじめ、関係  
省庁の官僚の方のパイプ  
ができてまいりました。

また、県知事をはじめ  
県幹部の職員とのパイプ  
も年々太くなってきたと  
感じております。そうい  
う関係性を活用しながら、  
山江村の発展のために理  
想論だけではなくてです  
ね、しっかりと泥臭くも国  
や県から予算や支援を取  
り付け、そういう実務能  
力を発揮するときにきた  
と感じております。

令和2年7月豪雨災害  
におきましては、子ども  
のころに遊んだ山や川が、  
そのふるさとの自然が無  
残にも崩壊した姿を見せ  
ました。そのとき思った  
のは、自分に与えられた  
運命、ミッションは、こ  
の災害からのふるさと山  
江村を取り戻すこと、そ  
して、それだけでなく元  
気なふるさと山江村をつ  
くり上げ、次の世代にバ  
トンを渡すことだと心に  
刻み、またそういう自然

災害が語りかけてきたと  
ころでもあります。鎮山  
親水には、そのふるさと  
への思いが込められてお  
ります。その実現に向け  
て、本年7月に執行され  
る山江村長選挙には、出  
馬するという決意を固め  
たところであります。



万江川土砂・洪水氾濫対策（屋形地区）砂防えん堤工事着工式



横谷 巡 議員



# ■ 大きな事業の方針転換に関わる 情報共有のあり方について！

## ■ 回覧板のケーブルテレビ活 用の考えは！

### ■ 高齢者等の孤独死の防止 対策について！

**問** 栗の駅事業の住民理解不足対応について

**答** 事業執行に当たり、栗の駅事業への住民理解が一層得られ、広がるような周知を図る考えはないか。

**答** 企画調整課長

住民の理解を深めるために、栗の駅に関する動画やケーブルテレビ、広報誌を活用、特集を組むなど、引き続き周知活動に努めたい。

**問** 施策方針転換の時、住民との情報共有は

**答** 行政施策方針の転換の時、住民理解と認識の情報共有がとても重要になつてくると考えるかどうか。

**答** 総務課長

事業実施の計画段階から丁寧の説明し、住民の理解を得ることは重要であると認識している。しかし、近年住民生活の多様化により説明会等への参加者が少ない傾向にあり、地域ごとの回覧、広報誌、ケーブルテレビ、村のホームページなど様々な情報手段で、住民との情報共有を図ってきたい。

**問** 行政回覧板のケーブルテレビ活用は

**答** 企画調整課長

村民全世帯加入の新たな行政情報の先駆けとして、民営化移行に伴い、行政回覧板放送を手掛けてみる考えはないか。

**答** 企画調整課長

全世帯加入の回覧板放送は、運営管理者の民間事業者との協議が必要で、引き続き地域と村民が求

**問** める情報を発信していきたい。

**答** 企画調整課長

民営化移行に伴い、現在の加入状況は。令和8年1月末の状況で、テレビ加入率は76%、インターネット加入率は30・2%で、テレビは1・4%の減である。

**問** 独り暮らし高齢者の孤独死防止対策は

**答** 健康福祉課長

独り暮らし高齢者世帯数はどのくらいか。

**答** 健康福祉課長

令和8年2月現在で、高齢者のみの世帯は440世帯、そのうち独居世帯は231世帯である。

**問**

病気や悩み等の健康不安や心配事、買い物等の生活の支えの相談体制の状況は。

**答** 健康福祉課長

健康不安や介護等の相談は、専門職による地域包括センターで対応、生活機能低下が見られる方へは自宅訪問、認知症対策として語り合いの場である認知症カフェの設置、生活の支えとして、まるおか号を活用しての買い物支援を実施している。

**問**

孤独死、孤立死を生ませないために一番必要なことは何か。

**答** 健康福祉課長

尊い命を防ぐために、一番必要なことは、行政の公助だけでなく、共助、住民一人ひとりが我が事として参加し、世代を超えてつながる地域共存社会の実現であると考えます。

## ■ 五歳児健診について

## ■ 杉・桧伐採について



立道 徹 議員



### 5歳児健診について

**問**

こども家庭庁は、来年度から発達障害の可能性を見極めるために5歳児健診の普及へ、費用補助、2028年度までに100%を目指すに掲げているが、この5歳児健診に対するの考えは。



**答 健康福祉課長**

継続的な関わりの重視として、5歳児健診という単発の枠組以上に、乳幼児からの顔の見える継続した関わりが重要である。1歳6カ月児、2歳児では歯科検診。3歳児の各健診に加え、保育園訪問や心理判定員による発達相談、保育士との密な連携体制を構築している。

**問**

国は積極的に推進するの方針であるが、どのような課題があるのか。

**答 健康福祉課長**

都市部を想定したもので、専門的な受け皿の不足、健診で課題を抽出してもその後の療育・放課後等デイサービス訓練等を行う受け皿がない。

**問**

国は、来年度から、医師の派遣、保健師、心理士向けの研修費を補助し、健診を行う自治体に1人5,000円補助する方針は。

**答 健康福祉課長**

相談体制をさらに充実させるための財源として活用し、個別相談の質の向上を目指し、保健師等の専門研修に役立てていく。  
また、国に対しても地方に不足している専門医の派

遣、現場で働く人を直接支える仕組みを国へ求めることが重要。

### 杉・桧伐採について

**問**

戦後、植林された杉・松、木材として利用に適した時期を迎えているが万江地区の山は、険しく、重機を使用できない山が多く、林業事業者も敬遠されている。主伐、間伐する事業者には補助金はあるのか。

**答 産業振興課長**

民有林の主伐については補助金はない。

**問**

架線（架設）を使用して搬出の補助金は。

**答 産業振興課長**

事業者が熊本県の認定事業を受けていれば補助の申請ができる。主伐・間伐ともに1箇所あたり八十万円を上限。補助金の嵩上げに對して、国・県への要望を。





## 議員活動報告



### 第2回熊本県町村議会議員研修会

令和8年1月20日（火）今年度2回目となる熊本県町村議会議員研修会が行われ、全議員が出席しました。今回は「地方創生のゆくえと議会の役割」と題し、ジャーナリストの青山彰久氏を講師に迎えオンライン形式での講演会でした。不安定な政治・変質する地方創世を皮切りに、都市と農山漁村、地域の力と議会の役割など、6つの柱で講演がなされ、特に地域の力と議会の役割では、請願・陳情者の説明機会の設定や、一般質問後に傍聴者へ発言機会を与えるなど他町村の取組み事例を交え講演がなされ、とても有意義な研修となりました。



### 下球磨町村議会正副議長会研修会



令和8年1月23日（金）下球磨町村議会正副議長会研修会が錦町保健センターで行われ、全議員が出席しました。今回は「広域連携による人吉球磨地域の課題解決に向けた取組み」と題し、熊本県県南広域本部球磨地域振興局次長畑中利徳氏を講師に迎え実施されました。地域おこし協力隊を活用した地域づくりの実績、また来年度における人員の拡充など、広域連携による課題解決を一層充実させていくとの講話がなされました。

### 令和7年度球磨郡町村議会議員研修会

令和8年2月6日（金）令和7年度球磨郡町村議会議員研修会が錦町役場で行われ、全議員が出席しました。

今回は「国の治水対策、インフラDX等」と題し、国土交通省大臣官房技術調査課参事官グループ事業評価・保全企画官齋藤正徳氏を講師に迎え実施されました。川辺川の流水型ダムの整備に係る整備スケジュールやその規模、技術的検討のプロセスを中心に、治水対策として実現性、環境影響、コスト、維持管理の観点から流水型ダムを含む河川整備の重要性を講演されました。



### 総務文教・産業厚生常任委員会合同視察研修



令和8年2月12日（木）～13日（金）まで、総務文教・産業厚生常任委員会合同視察を行いました。今回は、令和8年から山江村で事業を予定されている株式会社 TOMUSHI（福岡県大木町）等を研修しました。

株式会社 TOMUSHI はヘラクレスオオカブトなど外国産カブト虫の生産・販売、国産カブト虫を活用した飼料・薬品原料の販売などの事業を展開されています。カブト虫生産のフィールドとして山江村へ進出したいとの意向を受け、今回の視察研修となりました。山江村のメリットとして、農家の副収入や循環型の地球にやさしい農業の展開、そして観光資源としての利活用などが期待されます。

# 令和8年 第1回山江村議会臨時会

令和8年2月5日山江村議会臨時会が開催され、以下の議案が可決されました

- 専決処分事項の承認を求めることについて（山江村一般会計補正予算（第8号））  
衆議院議員総選挙に係る経費について、緊急に予算措置する必要が生じたため、専決処分するもの。
- 公共工事請負契約の締結について  
令和7年度林道葛線 R2災 2・3号箇所災害復旧工事を増額変更するもの。
- 令和7年度山江村一般会計補正予算（第9号）  
歳入における村債の追加、及び歳出における簡易水道事業会計への繰出金、山江村社会体育プール施設解体工事費の追加など。
- 令和7年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第4号）  
林道葛線仮設水道管布設工事に係る、資本的収入、及び資本的支出をそれぞれ追加するもの。

# 令和8年 第3回山江村議会臨時会

令和8年3月26日山江村議会臨時会が開催され、以下の議案が可決されました

- 指定管理者の指定について  
山江温泉「ほたる」の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。
- 指定管理者の指定について  
山江村地域特産物利用加工施設の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。
- 指定管理者の指定について  
山江村物産館「ゆっくり」の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。
- 令和7年度山江村一般会計補正予算（第11号）  
歳入における地方交付税の増額、村債の減額など、また歳出における石倉拠点整備事業費の減額など。

## だんだんなぁ

燃えるような新緑が目にも優しい季節となりました。今年も「ほたる」の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。

山江村物産館「ゆっくり」の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。

山江温泉「ほたる」の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。

山江村地域特産物利用加工施設の指定管理者を「株式会社やまえ」とし、指定の期間を令和8年4月1日から令和9年3月31日とするもの。

歳入における地方交付税の増額、村債の減額など、また歳出における石倉拠点整備事業費の減額など。

【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長 白川 久保 田  
委員 白川 久保 田  
委員 白川 久保 田